

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日(月)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 村川、小林、竹下、山浦、谷山、ヴィカシタリーシャ、櫻井、石村、田中、チャック、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	10	1	0	12

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">その都度ミーティングを行い、情報共有を行う。申し送りノートや終礼で共有が行えても一部の職員に支援内容が伝わっていないことがあり、同じ支援が出来ていないことがあるため、周知されているかの確認も行う。 情報共有でノートに記入するようにしているが、よりわかりやすい方法として言葉としても伝えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">朝礼や終礼を通して申し送りができている。ただ申し送りノートの見落としがあるため、確実に朝きたらノートを見るように心がけた。申し送りノートや基本情報で情報収集を行うが、情報の内容と異なることもあるため、すぐに伝えられる職員には伝達し情報共有した。支援の内容が統一されていない時もあるため、申し送りに参加していない職員がいたら翌日伝えるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	2	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	9	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	8	2	0	0

できている点
<ul style="list-style-type: none">初めて利用される方に安心していただけるような声掛けやあいさつは出来ていたと思う。利用前の基本情報を確認し、その情報をもとに職員間で利用者や家族の様子を把握。共有出来ている。本人の情報やニーズについて、利用開始前に朝礼や終礼で伝達されるので、みんなと同じ内容を共有することができている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">利用開始前の情報と利用開始後の状態は違う場合があるが、開始後の情報共有が少ない。家族が必要としている支援、不安や困りごと、要望の相談がしやすい環境になっていない。利用者の基本情報に関して、把握の仕方が職員によってムラがあるように感じた。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">職員個人個人が、利用者の観察をより細やかにを行い、朝礼や終礼で伝えるようにする。支援内容の共有のために、職員同士で声を掛けたり、自分から聞くように努める。家族とのコミュニケーションの中で、気になることはケアマネに相談したり、申し送りで伝達する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日(月)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 村川、小林、竹下、山浦、谷山、ヴィカシタリーシャ、櫻井、石村、田中、チャック、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	8	3	0	12

前回の改善計画

- ・職員が個々の利用者の目標を把握し情報を共有する場を作る。
- ・目標が実現できるような対応、心がけをしていく。
- ・利用者本人の「～したい」を理解し、具体的に実施できるような計画を立てる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・目標を把握することは出来ている。ただ業務に追われ対応が出来ていない。
- ・終礼にて適宜気になる方の対応方法や全体会議での個人カンファレンスにて支援内容を相談できている。
- ・以前よりケア内容を把握、決めやすくなっている。
- ・担当利用者以外の把握までは出来ていない。共有する場は作れていないと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	9	3	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	3	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	6	0	12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	8	4	0	12

できている点

- ・利用者の問題点を把握したうえで、実現が可能かどうか考えミーティングで話し合いをしている。
- ・モニタリング時に目標を把握する。利用者と話しながら何をしたいか聞いている。
- ・ミーティングで決まった内容を実施してどうだったかを報告し、次はこうした方が良さそうという提案をしている。

できていない点

- ・ケアプランの把握がなかなか出来ていない。ケアの統一が出来ていない。
- ・利用者との会話の中から、本人のしたいことを聞き出すことが難しく、ほとんど聞くことができていない利用者もいる。
- ・担当利用者以外の情報、ニーズに関しては、共有の場が少なく、また自分の利用者の情報、ニーズに関しても他職員に積極的に発信することは出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

空き時間を作り会話をする。会話の中でしたいことを引き出し支援へ繋げる。利用者が思いを伝えられないときは、ご家族と話しながら思いを探る。担当職員が、担当の利用者の目標を把握、理解し、他の職員へ発信していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日(月)

3. 日常生活の支援

メンバー 村川、小林、竹下、山浦、谷山、ヴィカシタリーシャ、櫻井、石村、田中、チャック、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	8	3	0	12

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の声かけや会話などではなく、生活状況をさりげなく聞けることを意識したコミュニケーションが取れるようになる。 ・新規利用者の情報など確認しそれを元に会話し、一歩踏み込んだ話ができるようになる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎中の車内などで、たわいのない会話をしながら、食事はとれているか、体調はどうか、声のトーンなどで落ち込んでいるようなことはないかなど、意識しながらコミュニケーションを取るようにした。 ・日常の何気ない会話や受診に関する会話の中でコミュニケーションを積極的にとるよう心掛けることができた。 ・生活状況を意識したコミュニケーションは取れるようになったが、新規利用者とは一歩引いた状態で接してしまうことがある。積極的にになりたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	5	6	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	6	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	4	5	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	5	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	6	2	0	12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・食事中は他の作業の手を止め、利用者の観察に重点を置くように努めた。食べづらそうにしていたり、むせ込みが見られた場合は検討し形態を変えることができた。 ・新規の利用者が一気に増えたことがあり、把握が大変な時があったが、個々に合わせた介護はできた。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の本氏との関わりの中だけでは、以前の暮らし方を引き出すことが難しく10個以上把握することが出来ていない。また家族と会う機会がないので話を聞くチャンスがない。 ・申し送りノートを通じての報連相がうまくいかず、対応が遅れてしまうときがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・会話を増やし、気持ちや体調の変化などに早く気づけるようにしていく。 ・報連相をスムーズに行い、瞬時的な対応を行っていく。 ・些細なことでもなんでも気になったら報告してもらえそうな雰囲気づくりをする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日(月)

4. 地域での暮らしの支援

メバ - 村川、小林、竹下、山浦、谷山、ヴィカシタ
リーシャ、櫻井、石村、田中、チャック、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	1	1	12

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・利用者とのコミュニケーションをとり、自宅の様子と合わせながら生活状況の把握に努める。・地域資源に関する勉強会の実施をする。また自発的に情報収集をする。・地域の活性化のために地域資源を利用する方法を考える。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者とのコミュニケーションから情報収集は意識していたが、地域資源に関する知識は得ることが難しかった。 ・自発的な情報収集は行えなかった。今の利用者の中で、地域資源を誰が何を利用しているのかわからなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	5	4	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	2	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	6	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	7	4	1	12

できている点
<ul style="list-style-type: none">・生活状況の情報収集や必要な支援(ふれあい訪問収集、宅食)など実施できていると思う。・基本情報やアセスメントを通して、これまでの生活環境や人間関係を把握し、一緒に支えてもらえるためにはどうしたらよいかを意識し、役割分担など相談、提案している。・送迎時に近所の人と会ったときは挨拶を欠かさなかった。民生委員と話すことがあれば詳しい情報を伝えるようにした。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・利用者の家族以外の人との関わりや地域の人との関わりについてあまり把握できていない。・事業所の決められた支援は出来ているが、連携が必要ない地域資源については把握できていないことがある。・すべての利用者のケアプランの把握が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">・近隣の方と話しているところを見かけたら、それとなく尋ねてみる。・新しい人とは積極的にコミュニケーションを図り、プライベートなところまで踏み込んで話を聞けるような信頼関係づくりを意識する。・その方の暮らしが豊かになるような地域資源を探し、支援へ取り入れるように提案をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日(月)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 村川、小林、竹下、山浦、谷山、ヴィカシタリーシャ、櫻井、石村、田中、チャック、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	8	3	1	12

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">自分たちがもっと社会資源のことを理解し、利用者に合った資源を提供していく。利用者の生活が豊かにするための社会資源の利用方法を検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">以前より社会資源を使用する利用者が増え、生活しやすい状態になったと思う。社会資源についての知識がなく、利用者がどのような社会資源が必要なのか、利用できるのかわからなかった。話し合う機会もなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	1	2	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	6	1	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	8	1	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8	2	0	12

できている点	<ul style="list-style-type: none">ふれあい訪問収集や家族支援事業など、その方に合った社会資源の提案を行いサービスの利用へつなぐことができている。また事業者との情報共有もかかさず行い、スムーズな関係性を作ることが出来ている。利用者のニーズに対して気づいたことがあれば、ケアマネに相談したり申し送りで流すようにした。利用者の気持ちに合わせて、訪問や通い、泊りのサービス変更を柔軟に行えた。台風の時など1人で過ごすことが不安で仕方がない方なども気持ちを汲み取り泊りの調整などすることができた。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none">社会資源の知識が少ないため、社会資源を活用しての支援というところまで考えが至らなかった。社会資源に対し知識不足なため、外に目を向けた支援、柔軟な支援が出来ていない。小多規利用中でも使用可能なのかなどわからなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none">社会資源の知識の向上と活用方法の研修を行う。知識を身につけ、現在利用できるサービスの取りこぼしていないか支援の見直しを行い、必要な支援はカンファレンスにて提案する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日(月)

6. 連携・協働

参加者 村川、小林、竹下、山浦、谷山、ヴィカシタ
リーシャ、櫻井、石村、田中、チャック、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1+	2	5	4	12

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・コロナ感染症が落ち着き外部との交流ができるようになったらイベントを企画する。・地域住民が立ち寄れるような環境を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・事業所近隣に住む家族の来所はあっても、住民の方が来られる環境にはなかった。・コロナに関しては、油断が許せない状況は変わりなく、面会制限がある中、交流は再開はできなかった。・日々の業務に精いっぱい、立ち寄れるような環境作りは全く出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	4	3	4	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	3	5	4	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	3	4	4	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	5	6	12

できている点
<ul style="list-style-type: none">・利用者の状態の変化に気づいたら、主治医や訪看など連携しているサービス機関へこまめに連絡し情報を共有している。・地域の清掃活動に参加し地域の方と交流する機会があった。・ケア会議や居宅連絡会など、関係ある会議やお誘いいただいた会議へ出席することができている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・地域の活動やイベントへの参加が少ないと感じる。まだまだ出来ることがあるが、情報がほとんどないため、いつ行われているか把握できず参加できていない。・事業所内の伝達は出来ているが、外部のサービス事業所への連絡が抜けてしまうことがある。・個人的には、地域に目を向けた会議に参加できていない。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">・地域の活動に参加してみたい。そのための情報収集を行う。・状態に応じて、サービス事業所とこまめに連絡を取り合う。連携を欠かさない。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日(月)

7. 運営

メンバー 村川、小林、竹下、山浦、谷山、ヴィカシタ
リーシャ、櫻井、石村、田中、チャック、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	4	7	1	12

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・コロナ終息後に向けて活動できるように情報収集や企画立案を行っていく。・事業所の在り方について職員間で話し合う機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症が終息に至らず、事業所の勉強会や全体会議も中止せざる時期もあったため、まだ日常の感染予防対策で手いっぱい、終息後の活動にまで目を向けられない。・事業所のあり方に沿った動きをしているつもりだが、そのことについて話し合う機会はなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	5	5	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	2	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	3	0	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	8	2	12

できている点
<ul style="list-style-type: none">・利用者の家族や地域の方から意見をいただいたときは、すぐに職員間で話し合い対応を共有するようにしていた。・ささいなことでも見聞きしたことや不満やトラブルなどは報告するように心がけていた。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・精霊船の花飾りの作成には参加しているが、それ以外では協働した取り組みができていない。・事業所のあり方について職員間で話し合うことがなかった。あり方についての共通認識を確かめて意見を言うことをしていきたかった。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">・地域では、サンブライト愛宕Ⅲがどのような事業所であってほしいのか。イメージとする事業所像を聞き、それについてどのようなことができるのかを考える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日(月)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 村川、小林、竹下、山浦、谷山、ヴィカシタリーシャ、櫻井、石村、田中、チャック、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	9	1	0	12

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> • 同じようなヒヤリが多いため対応を考える。 • 継続して資格取得や研修に参加し自己研磨に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> • 一日にあったヒヤリを終礼で共有し対策も話し合うようにしてからは少なくなった。 • 同じヒヤリを出さないように、一人ひとりの意識を高めるため、スタッフ間の声かけがしやすい環境作りをしようと心がけた。以前より同じヒヤリは少なくなったと思う。 • 研修への参加はできているが、全員集まっての事業所内研修はコロナ感染予防のため中止になることもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	8	1	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	7	2	1	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	5	5	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	10	1	0	12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> • 事業所内研修 10回/年、個人研修 2回/年と計画的に受講できており、その他でも知識の習得、技術の向上に取り組んでいる。 • 地域に関係する会議には必要に応じて参加している。 • 令和7年1月に実施される介護福祉士国家試験の合格を目指し日々勉強に取り組んでいる。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> • 外部研修で得た知識を他の職員と共有できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> • 地域行事へ参加するために他事業所の取組みを調べる。 • 個人研修を受講した後は、全体会議で研修の報告を行い、研修で学んだ内容を職員同士で共有し、介護技術やケアの向上につなげる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日(月)

9. 人権・プライバシー

参加者 村川、小林、竹下、山浦、谷山、ヴィカシタ
リーシャ、櫻井、石村、田中、チャック、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4	7	1	0	12

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・スピーチロック、身体拘束、虐待防止についての取組みを委員会が中心となり継続して行う。・スピーチロックについて、定期的に研修や会議などを行い、スピーチロックへの理解を深める機会を作る。・スピーチロックなどにならないように、落ち着いて声をかける。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・スピーチロックについて積極的に取り組むことで、利用者に寄り添った声掛けができるようになった。・行動を制限するようなスピーチロックは聞かれないが、ちょっと待ってなどの言葉は聞かれる。・普段から勉強会や研修にて定期的に話し合う場をもったため意識して動くことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	4	0	0	12
②	虐待は行われていない	9	3	0	0	12
③	プライバシーが守られている	7	5	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	7	1	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	4	1	0	12

できている点
<ul style="list-style-type: none">・スピーチロックの勉強会をしたことで、言葉の使い方を考えながら話すようになった。・身体拘束をしなくていいように、利用者の危ない行動に対してどのように対応するのかその都度話し合っている。・身体拘束や虐待はしていない。職員一人ひとりが知識を身につけて対応している。・成年後見制度を利用されている方が数名いる。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・「ちょっと待って」の声が聞かれる。ちょっと待ってというだけでなく、お待ちいただく理由とどのくらいかきそうなのか時間を伝えるなどの配慮ができていない。・利用者の名前が書かれた送迎表などが作業台に置かれている。来客者などが見ようと思えば見れる状態にある。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">・身体・虐待防止委員会を中心に勉強会や研修を行う。また意識を高めるために啓発活動を継続する。・個人情報に配慮して業務を行う。そのために業務で使わない書類は出しっぱなしにせず定位置へしまうなど作業台の整理整頓を行う。

